

20代～40代は要注意！ 知っておきたい「麻疹」 ～知識と対策～

麻疹の症状

麻疹ウイルス感染後の症状の変化



- ①感染から10～12日後の発熱・咳・鼻水・目の充血
- ②頬の粘膜（口の中）の直径1～2mmくらいの白い斑点
- ③いったん体温が1℃くらい下がり、再度39℃程度の発熱
同時に顔から全身に向けて赤い発疹が広がる



全身に発疹の広がる前が
もっとも感染しやすい……
→感染者自身が麻疹に気付かず
感染がさらに拡大する



完治までに1週間前後かかり
重症化すると入院治療が必要
発疹が黒ずんで残ることも……
→長期的に生活に影響が出る

麻疹は恐ろしい感染症です

麻疹の感染を防ぐには



2回の予防接種を受けること



* 麻疹の感染を確実に防ぐ方法は「2回の予防接種を受けること」のみで他の予防方法では**効果がありません**

- ・ 感染者の咳・くしゃみから空気感染や接触感染をする
→ **感染者と同じ空間にいるだけでただちに感染する**
- ・ 感染力がインフルエンザの10倍近い強さ
→ **免疫を持っていない人はほぼ100%感染する**
- ・ 非常に小さいウイルスである
→ **市販のマスクを通り抜ける**



なぜ予防接種でしか
防げないの？

うがい・手洗い・マスクでは麻疹を防げない！！

麻疹の予防接種に関するQ & A

Q. 予防接種は誰でも受けていいの？



A. 受ける必要のない人・受けてはいけない人もいます

- ・ 過去に麻疹にかかったことのある人
- ・ 妊娠中の人
- ・ 抗がん剤治療を受けている人

※ その他持病のある人、過去にワクチンを接種したときに重篤な副反応が出たことのある人は、必ず主治医に相談してから接種するようにしてください



麻疹の予防接種に関するQ & A

Q. 予防接種を2回打ったか忘れた！



A. 確認する方法が2種類あります

① 母子手帳を確認する

母子手帳には予防接種の接種歴が書いてあるので確認してみましょう

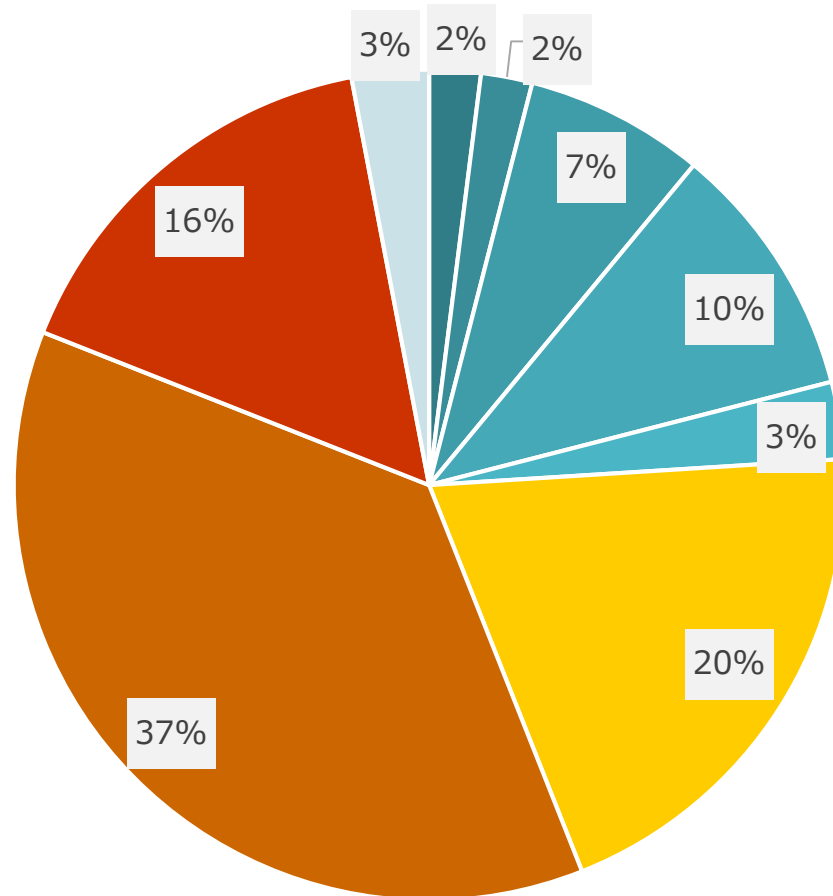
② 抗体検査を受ける

医療機関を受診し、医師に相談のうえで
自分が麻疹への免疫を持っているかの検査を受けることができます



麻疹の予防接種に関するQ & A

参考：年齢群別麻疹累積報告数割合 2018年 第1～17週【2018/1/1～2018/5/2 (n=102)】



20～40代が全体の73%を占めます

※特に20～40代（1977～1990年生まれ）の方は定期接種が1回のみだった可能性が高いです！
母子手帳をご確認のうえで早めに医療機関の受診を！
接種歴不明の場合は、打っていないものとみなしましょう。

■ 0歳 ■ 1～4歳 ■ 5～9歳 ■ 10～14歳 ■ 15～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50歳以上

<出所>「感染症発生動向調査2018年5月2日現在」（NIID国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/2018pdf/meas18-17.pdf>

企業としてできる対策



企業として麻疹の感染拡大を予防することは
社員を守り社会貢献にもつながる**重要**なこと！



具体的な方法は？

- ・ 社員の予防接種歴を確認するよう呼びかける
- ・ 予防接種が2回必要であることをポスターや社内メールで呼びかける
- ・ 予防接種希望者には費用補助する企業もある

※特に**医療、接客業、旅行業**などは感染のリスクが高いため
企業としての対策をとる必要性が高いと考えられます！

